



CSR重点テーマ

健康・快適

高齢化社会の到来、余暇時間の増大などにより、

人々の健康・快適への関心がますます高まっています。

さらに、価値観やライフスタイルの変化により、そのニーズは高度化、多様化しています。

野村不動産グループは、スポーツを通じた健康増進、シニア住宅の開発、

さらにユニバーサルデザインの推進やコミュニティへの参画を促す仕組みづくりなど、

人々の健康で快適な生活の実現に取り組んでいます。

健康・快適を実現するデザインの推進 ————— 46

高齢化と多様性への対応 ————— 47

CSR | 健康・快適

健康・快適を実現するデザインの推進

デザイン性と品質を両立した住宅・ビルの提供

■ プラウドスマートデザイン「～ SMART & GROWING ～」

野村不動産は、プラウドスマートデザイン「～ SMART & GROWING ～」を策定しています。「SMART」（先進技術の導入や自然との共生などによる環境負荷低減に関するビジョン）と、「GROWING」（住まいの快適性と安全性、持続可能性に関するビジョン）の2つのコンセプトの下、「プラウド」の開発を進めています。

■ 「2015年度グッドデザイン賞」受賞

当社グループは、財団法人日本デザイン振興会主催の「グッドデザイン賞」を14年連続で受賞しました。2015年度の受賞件数は6件でした。

受賞プロジェクト

- ・プラウド町田 環境教育住宅「エコハグ」
- ・プラウド美しが丘
- ・ヒルコートテラス横浜汐見台
- ・『バリアフリー&クオリティオブライフ ガイドブック』
- ・森のシティ自治会
- ・スカイズ タワー&ガーデン

🏠 2015年度グッドデザイン賞 受賞



『バリアフリー&クオリティオブライフ ガイドブック』

■ 「デザインレビュー」の開催

野村不動産は、「プラウド」のデザイン性と品質の向上を目指し、前年度に竣工した物件の中から優れた物件を表彰する社内コンテスト「デザインレビュー」を開催しています。外部の建築家を審査員として招き、外観デザイン、コミュニティ形成や環境問題への対応など、さまざまな視点から評価します。建築担当の社員が互いにデザインや技術を切磋琢磨することで、顧客満足の向上に努めています。

CSR | 健康・快適

高齢化と多様性への対応

ユニバーサルデザインの推進

■ バリアフリー&クオリティ オブ ライフガイドブック

野村不動産は、明治大学大学院 園田研究室との産学協同研究により『バリアフリー&クオリティ オブ ライフガイドブック』を作成しています。当社が2000年より開始したオーダーメイドマンション事業の事例の中から、高齢者や車いす利用者、視覚・聴覚障がい者の方に対応したプランを検証し、「空間構成の6タイプ」「22種的设计ポイント」など、設計上のポイントをまとめたものです。ケアの必要な方はもちろん、サポートするご家族にとっても、快適な住空間であることに配慮しています。



オーダーメイド事例

■ ユニバーサルデザインガイドブック

野村不動産は、さまざまな世代やライフスタイルの方が快適に毎日を過ごすことができるよう、設計上の配慮を行っています。こうしたポイントを、『プラウドユニバーサルデザインガイドブック』としてまとめ、このガイドブックを指針としたユニバーサルデザインを推進しています。

健康ニーズへの対応

■ デュアルタスクトレーニングを筑波大学と共同研究

メガロスでは、筑波大学山田実准教授監修の下、転倒の原因となるサルコペニア（加齢に伴う筋力の低下）を改善するトレーニングや、認知症予防のためのデュアルタスクトレーニング（二つのことを同時に行う運動）を提供しています。「倶楽部100®」会員の協力を得て身体機能の測定を行い、当トレーニングが筋肉に及ぼす影響などについて分析。今後、運動プログラムの開発に活かす予定です。

■ 地域の高齢者への運動支援

メガロスでは、自治体からの委託を受け、「65歳以上の生活機能低下のリスクのある方」を対象に、運動教室を提供しています。運動教室では、地域自主サークルへの出張指導や体力測定会の開催など、地域高齢者への運動支援を行っています。



運動教室

「認知症サポーター」資格の取得促進

メガロスでは、地域に暮らす認知症の方やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」資格の取得を促進しています。「認知症サポーター」の養成は、厚生労働省が策定する「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の一環として行われるものです。

TOPICS 「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）」構想が国土交通省・スマートウェルネス住宅等推進モデル事業に選定

野村不動産・野村不動産ウェルネスが推進する「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）構想～健康増進とコミュニティ醸成をコンセプトとするサービス付き高齢者向け住宅を街の機能に組み込んだ一体的な地域包括ケアシステム～」が、国土交通省・スマートウェルネス住宅等推進モデル事業に選ばれました。スマートウェルネス住宅等推進モデル事業とは、高齢者、障害者又は子育て世帯の居住の安定確保及び健康の維持・増進に資する事業の提案を公募し、国が事業の実施に要する費用の一部を補助するものです。

「スマートウェルネスタウン（船橋モデル）構想」の概要

- ・「ふなばし森のシティ」に、サービス付き高齢者向け住宅（126戸）を組み込み、既存コミュニティと入居者のコミュニティとの融合を計画。
- ・多世代の地域住民が、健康状態に応じて健康増進・予防・介護・医療サービスをシームレスに利用できる地域包括ケアシステムを構築。
- ・「こころとからだの健康」サポートをICTと人的オペレーションにより実現し、入居者だけでなく、地域住民にもサービスを提供していくことで、地域全体の健康増進・介護予防の意識を向上。